

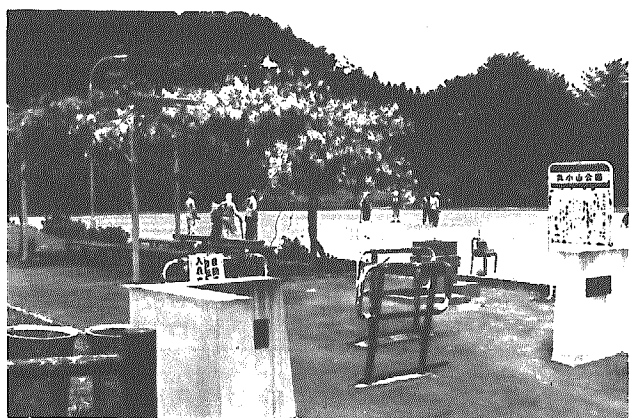
# シリーズ 10 岩室 お湯と甚句の古里



岩室区長  
関崎信雄さん  
(55歳)

■新年あけましておめでとございます。今月の「おじゃまします」地域情報ネットワークは、正月気分も手伝って、温泉に入りながら、岩室甚句を聞きたいと、岩室温泉のお蔭元——岩室地区におじゃましました。

岩室といえば、もうだれもがすぐに「温泉」とコミカルな郷土民謡「岩室甚句」を思い出しますね。ここ岩室は岩室甚句の一節にもあるように、古くから弥彦神社を訪れる人々の遊里としてまた宿場町として栄えてきたところと。とここで、ここ岩室の象徴である温



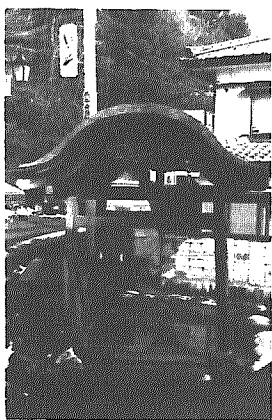
休日ともなると家族連れでにぎわ丸小山公園、四季折々の景色も美しい所。

泉は、今からおよそ二百七十年前の正徳三年に開湯されたと伝えられ、また傷ついた数羽の雁が湯あみをして傷を治した!?ことから、別名「霊雁の湯」ともよばれる伝統とロマンに満ちた県内屈指の温泉です。それに岩室で忘れてならないのが、そう、岩室芸者のきめ細かな情緒と風情です。こう書いてくると、岩室地区の紹介というより、なんか岩室温泉の観光PRみたいになりますが、それほど、この地区は「温泉のまち」としてのイメージが強く感じられるところです。

「岩室は、古くから温泉地として人気があり、近郷近在から大勢の人が訪れています。とくに近ごろでは、毎年七月二十九日、三十日に行われる「岩室温泉まつり」は、花火大会や芸妓若者みこしで温泉街が一気にわきあがり、見物人も大勢押し寄せています。このように人が集まるのは、イベントもさることながら何んといっても、この地区の人たちの人情の深さ、温厚な人柄から生まれる地域性のためではないでしょうか」と人情味が岩室の特長と語る岡崎区長さん。またここは、温泉という資源のほかに、松岳山、天神山城址、良寛ゆかりの田中の松など、名所、史跡も数多く、恵まれた自然とともに観光資源には事欠かないところです。そんな岩室でいま、もっとも人気の高いのが、村民憩いの広場としてすっかり定着した感のある丸小山公園です。「この丸小山公園は本当に評判がいいですね。休日ともなると親子連れやゲートボール

を楽しむお年寄りらで大変にぎわっています。近くにこんなすてきな所ができて、みなさん本当に喜んでいます」と新しい憩いの場の誕生を喜ぶ岡崎区長さん。

ところで、環境的にすてきな岩室も一面ではアキレス腱があります。地区の世帯数が多いため、地区全体としての交流といったものが割合に少ないことです。「でも、全体の動きは少しにぶい？ものの子供会や老人クラブ活動などグループ単位の活動は活発です」と岡崎区長さん。地区単位のコミュニティ活動は村内最大地区が災い？してか少ないもの、そこは伝統と人情味の岩室。人と人との交流には、温泉のような温かさを感じる岩室地区でした。



岩室温泉の名所の一つ湯壺

岩室三ニデータ

人口と世帯数	
人口	872
男	389
女	483
世帯数	280

(昭和63年12月1日現在)

## 編集後記

■新年あけましておめでとございます。昨年は取材などでおじゃまさせてもらったみなさん、ほんとうにありがとうございました。慣れないため、取材に行ってもちんぷんかんぷんな質問ばかり、それに写真を撮ればピンボケで再度お願いしたり……でホント失礼しました。■おかげさまで何とか年を越せ、ホツとしています。こんな編集子ですが、今年もまた、みなさんのところへおじゃまします。ので、どうぞよろしく。(マ)

ふー、終わった。今年最後の仕事「広報いわむろ新年号」の原稿を書き終えた。六十三年もいろうんな人と出会ったなあ。「とって読みやすくなったよ」「誤字には注意した方がいい」「〇さんはおもしろいことをやっているから取材してみたら」——こう言ってくれる人が広報マンの宝です。ところで、いつも取材では三十分ほどおじゃまして帰ろう、が一、二時間になってしまふ。会う人みんな仕事でも趣味でも人間関係でもしつかりした考えを持っていきますね。こういう人たちが岩室村民だと思つと、ついうれしくなつてしまいます。広報を担当して七年め。そろそろ「楽しい気分!?お前だけ味わわせんぞ」の紙が来るかもしれないな……。(み)